

水戸市協働推進基本計画（第2次）

こみっとプラン

【ダイジェスト版】

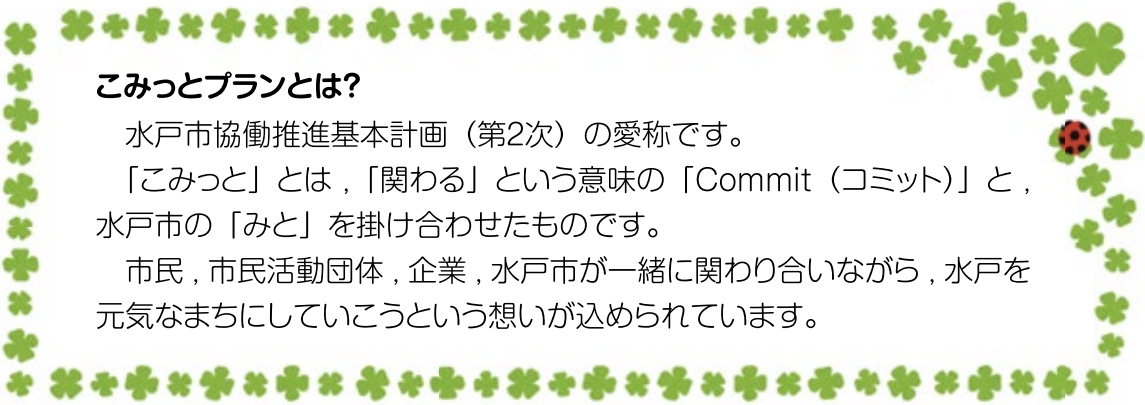


水戸市

はじめに

このダイジェスト版は、「水戸市協働推進基本計画（第2次）～こみっとプラン～」をより分かりやすく，簡潔にまとめたものです。市民の皆さんに，この計画を知ってもらい，積極的に協働のまちづくりに取組んでもらうために作成しました。

水戸市全体が一体となって協働のまちづくりに取組み，暮らしやすく，魅力と活力にあふれるまちをつくりましょう！



こみっとプランとは？

水戸市協働推進基本計画（第2次）の愛称です。

「こみっと」とは，「関わる」という意味の「Commit（コミット）」と，水戸市の「みと」を掛け合わせたものです。

市民，市民活動団体，企業，水戸市が一緒に関わり合いながら，水戸を元気なまちにしていこうという思いが込められています。

もくじ

目指す姿	水戸市はこんなまちを目指しています!.....	1
現状 ①	なぜ協働が必要なの?.....	2
現状 ②	今の水戸市は?	3
とらえ方	3つの視点から取り組んでいきます!.....	5
つながる	～パートナーシップの構築～	6
育つ	～自立の促進～	7
支え合う	～推進体制の強化～	8

★ 計画の本編は、水戸市のホームページからご覧いただけます。

水戸市HP → まちづくり → 市民活動の支援 → 協働ニュース

→ 水戸市協働推進基本計画(第2次)～こみっとプラン～を策定しました!


ホームページ <http://www.city.mito.lg.jp>



目指す 姿

水戸市はこんなまちを目指しています!



 本編 23 ページ

水戸市では、多様化する市民ニーズや社会情勢に柔軟に対応するため、協働のまちづくりを進めています。市民のみなさん一人ひとりが協働を推進していけるよう、水戸市が目指す協働の姿を、次のスローガンで決めました。

パートナーシップを生かし、
協働のまちづくりを更なる高みへ!!

今までよりも、効果的に政策課題や地域課題を解決していくために、市民・市民活動団体・企業・水戸市が一体となって、協働のまちづくりを更なる高みへ導いていきます。

水戸市が、暮らしやすく、魅力と活力にあふれるまちになるよう、このスローガンのもと、積極的に協働のまちづくりに取り組みましょう!



ポイント

協働とは、それ自体が目的ではなく、よりよいまちづくりや、より住みやすい社会を実現するための「手段」のひとつです!

現状①

なぜ協働が必要なの？

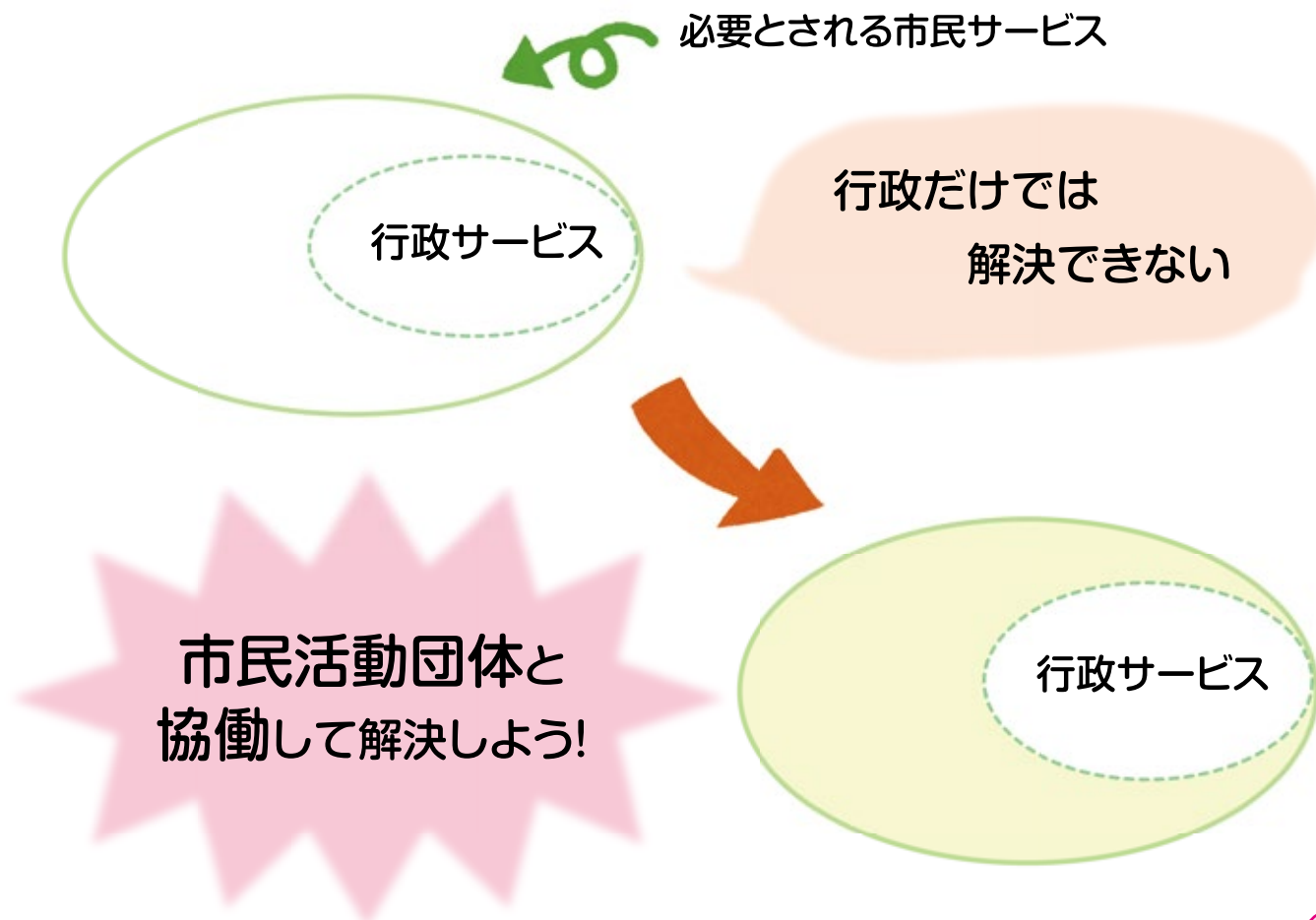


➡ 本編 8～14 ページ

少子高齢化が進み、子育てや福祉の問題が増え、社会の変化とともに、市民の価値観や生活様式も変化しています。市民ニーズは多様化、複雑化し、財政難の中、もはや行政の力だけでは解決できない政策課題や地域課題がたくさん出てきました。

一方で、そのような課題を自分たちで解決しようと、意欲的に取組むNPOやボランティア団体が増えてきています。

これから、社会の変化に柔軟に対応し、暮らしやすく、魅力と活力にあふれるまちづくりを進めるには、みんなで力を合わせて課題を解決する「協働」が必要です。



現状②

今の水戸市は？

水戸市の協働に関する現状を分析して、課題を見つけます。



市民活動の
状況は？

◎市民活動団体の数は増えているけど、
高齢化で後継者が不足している。

➡ 活動しやすい環境づくりが必要。

この課題を
解決するために、
計画を改定するよ!!



課題 1 市民の参加意識の醸成

課題 2 市民，市民活動団体，企業

課題 3 市民活動団体の自立に向け

課題 4 多様な市民のニーズに対応

市と
市民活動団体は
連携・協力
しているの？

◎連携・協力しているけど、
協働に対する認識にばらつきがある

➡ 協働に対する信頼を高め、
団体と市が対等な関係を築き、
協働を進める体制を確立する
ことが必要。

水戸市の
行財政状況は？

◎限られた財源の中で質の高い
行政運営の取組を進めている。

➡ 行財政の健全化とともに、
市民サービスの維持向上に
努めることが必要。

、行政が、円滑に連携・協力し合える環境づくり
けた組織的・財政的な支援
できる体制の構築

第1次計画での
取組の評価は？

◎団体間で、主体的な取組が進められ
る関係になっていない。
◎組織・財政基盤が弱い。
◎協働の理解・意識が浸透しておらず、
共通の認識が不足している。

➡ 状況を踏まえて、
計画を改定することが必要。



とくみ

3つの視点から取り組んでいきます!



➡ 本編 31 ページ

課題を解決し、協働のまちづくりを推進するため、以下の3つの柱をもとに、具体的な取組みを進めていきます。



協働を進めるときには、相手方との間で十分に話し合いを行い、それぞれの役割分担を決めることになります。

それぞれの役割に責任を持ち、協働を適切に進めるため右の6つの約束を守って、協働に取り組みましょう!

★やくそく★

- ① みんなが対等であることを理解しよう!
- ② お互いを尊重し合おう!
- ③ お互いの違いを認め合おう!
- ④ 同じ目的と課題に向かって進もう!
- ⑤ 情報を公開しよう!
- ⑥ 定期的に評価しよう!

➡ 本編 27 ～ 28 ページ



5

つながる ~パートナーシップの構築~

みんながつながって協働の輪が広がることを目指します!

とりくみ① 情報を共有します

★情報の交換ができるように

市民、市民活動団体、企業、水戸市が、協働に関する情報や市民活動団体の取組状況などの情報を共有し、より一層の相互理解と交流を図れるよう、市民活動情報Webサイト「こみっと広場」、市民活動団体情報コーナーの活用や、情報交換の場となる「(仮称)交流のひろば」を開催します。

とりくみ② 意識を醸成します

★参加のきっかけをつくるために

協働のまちづくりに対する市民意識を高め、市民の市民活動への参加を促すため、活動ポイント制度、ボランティア体験学習、こみっとフェスティバル、市民アンケートを実施します。

★みんなで理解し合うために

協働の必要性や効果などを学び、協働に積極的に取組めるよう、市職員、市民活動団体、市民に対して研修を実施します。

また、市民活動団体と水戸市との相互理解を図るため、相互の派遣研修や意見交換会などを実施します。

★市民の意識を高めるために

これからの公共のあり方や協働の有効性、必要性など、協働に対する市民の意識を高めるため、広報みと、ホームページ、こみっと広場などで、協働事業の実施状況や市民活動団体の先駆的な事例などを紹介します。

育 つ ～自立の促進～

市民活動団体が自立して、協働のパートナーとなることを目指します!

とりくみ③ 組織基盤を強化します

★必要な知識を学ぶために

組織運営に必要な基本的知識を習得するための研修やマニュアルの作成などについて、NPOやボランティア団体の中間支援組織とも連携しながら実施します。

★つながりをつくるために

市民活動団体が、協働に関する情報や他の団体の取組状況などの情報を共有できるよう、市民活動情報Webサイト「こみっと広場」を積極的に活用します。

また、他の団体との交流を図り、人脈を広げ、活動の質や意欲を高めていくため、こみっとフェスティバルを開催します。

★組織を運営しやすいように

情報処理、事務連絡、会議、資料作成などの事務処理ができ、団体同士で情報交換や交流もできる拠点をつくります。

とりくみ④ 財政基盤を強化します

★安定した活動が続けられるように

市民や企業が、人材の派遣や技術の提供、資金の支援などをとおして、市民活動に参加できるようなしくみを作ります。

また、団体としての健全な運営や持続した活動を行うため、委託契約のルール作りを行います。

さらに、市民活動団体が、イベントや講演会などを実施する際には、施設を利用しやすくし、機器などの使用、活動に必要な消耗品の支給などの支援を行います。

支え合う ～推進体制の強化～

協働がスムーズかつ活発に進むことを目指します!

とりくみ⑤ 協働を推進する体制を強化します

★基本的ルールにそって協働を進めるために

市民活動団体と水戸市が共通の基準のもとで協働を推進するため、協働の具体的な手順や注意点をまとめたマニュアルを、社会全体の実情に合わせて改定し、柔軟に運用します。

また、協働のまちづくりの一層の発展を図るため、協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」について、既存事業の見直しも含めた制度の拡充を行います。

★社会全体が一体となって活動を支えるために

中立・公正な第三者機関である協働推進委員会で、協働を推進するための新たな制度の創設などについて検討します。

また、協働を円滑に実施するため、庁内の推進組織を強化します。

さらに、市民活動団体・企業・行政などが一体となり、社会全体で地域社会貢献活動を支えていくため、パートナーシップ協定の活用など、推進体制の強化に努めます。



まちづくりの主役は私たち一人ひとりです。
水戸市を暮らしやすく，魅力と活力にあふれるまち
にするため，みんなで支え合い，協力しあう
協働のまちづくりを進めましょう!



水戸市協働推進基本計画（第2次）
～こみっとプラン～ ダイジェスト版

発行者 水戸市
〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号
電話 029-224-1111（代表）
ホームページ <http://www.city.mito.lg.jp>



今の水戸市は?

水戸市の協働に関する現状を分析して、課題を見つけます。



市民活動の状況は?

◎市民活動団体の数は増えているけど、高齢化で後継者が不足している。

➡ 活動しやすい環境づくりが必要。

水戸市の行財政状況は?

◎限られた財源の中で質の高い行政運営の取組を進めている。

➡ 行財政の健全化とともに、市民サービスの維持向上に努めることが必要。

この課題を解決するために、計画を改定するよ!!



- 課題1 市民の参加意識の醸成
- 課題2 市民，市民活動団体，企業，行政が，円滑に連携・協力し合える環境づくり
- 課題3 市民活動団体の自立に向けた組織的・財政的な支援
- 課題4 多様な市民のニーズに対応できる体制の構築

市と市民活動団体は連携・協力しているの?

◎連携・協力しているけど、協働に対する認識にばらつきがある

➡ 協働に対する信頼を高め、団体と市が対等な関係を築き、協働を進める体制を確立することが必要。

第1次計画での取組の評価は?

◎団体間で、主体的な取組が進められる関係になっていない。

◎組織・財政基盤が弱い。

◎協働の理解・意識が浸透しておらず、共通の認識が不足している。

➡ 状況を踏まえて、計画を改定することが必要。